

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 術前化学療法が浸潤性膵管癌に及ぼす、癌微小環境の解析

研究の目的

浸潤性膵管癌（膵臓に発生する悪性腫瘍）に対する治療は手術が一般的ですが、最近、術前化学療法の有効性が報告され、術前化学療法後に手術が施行されることが多くなっています。癌の悪性度は、癌とともに、癌周囲の環境（癌微小環境）が関与することが知られています。そこで、本研究では、術前化学療法による、癌細胞の変化、癌微小環境に及ぼす影響に関して検討することを目的としています。

研究実施期間： 2023年3月24日 ~ 2027年3月30日

対象となる方： 2019年1月~2022年12月までの間、附属病院消化器外科を受診し、浸潤性膵管癌と診断され、手術を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

手術で摘出された浸潤性膵管癌の病理標本、および電子カルテに記載されている臨床情報（がんのステージ、年齢、性別、予後）を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、浸潤性膵管癌の病理標本を顕微鏡で観察することで、癌細胞周囲に浸潤する腫瘍免疫細胞がどのくらい分布しているか、術前化学療法によりどのように変化するかを解析します。また、得られた臨床情報から、術後の再発リスク、予後との関係性を検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座 吉澤忠司
電話 0172-39-5029 メール tyoshi@hirosaki-u.ac.jp

